

2023年11月1日
株式会社三菱UFJ銀行

KDX 不動産投資法人へ「グリーンローン」を実行

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下「当行」）は、KDX 不動産投資法人（執行役員 桃井 洋聡^{ももい ひろあき}、以下「当投資法人」）へ、グリーンビルディング（リバーシティ 21 イーストタワーズⅡ、以下「本物件」）の取得資金を資金使途としたタームローン（以下「本ローン」）を実行いたしました。

当投資法人は、前身となるケネディクス・オフィス投資法人にて2005年7月に東京証券取引所不動産投資信託市場に上場し、東京経済圏の中規模オフィスビルを中心に投資・運用を行うことで安定的な収益の獲得を実現してまいりました。今般、2023年11月1日付で、ケネディクス・オフィス投資法人を存続投資法人として、ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人、およびケネディクス商業リート投資法人を吸収合併し、投資対象セクターを拡大し、様々なアセットタイプを投資対象とする総合型の投資法人となり、KDX 不動産投資法人へと名称変更しております。当投資法人の合併後の資産規模は、350物件・取得価格合計1兆1,498億円となり、アセット分散のきいた強固なポートフォリオを構築しています。

当投資法人が資産の運用を委託するケネディクス不動産投資顧問株式会社では、ESGへの取組みを重要な経営課題の一つと位置付けて「サステナビリティ方針」や「環境方針」を制定しています。また、エネルギー使用量の削減目標や環境認証等取得床面積割合の目標を設定し、環境負荷低減の取り組みを進めています。当投資法人は今後も、様々なアセットタイプへの投資・運用を通じ、持続可能な社会の実現を目指したサステナビリティの向上に努めていきます。

尚、本資金使途における設備資金は、当投資法人のグリーンファイナンス・フレームワークに基づいて、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされたものです。当投資法人のグリーンファイナンス・フレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、グリーンローン原則への準拠について第三者評価（最上位の「Green 1（F）」）を取得しています。

<本ローン概要>

契約締結日	2023年10月30日
借入金額	10億円
資金使途	グリーンビルディングの取得資金
貸出人	株式会社三菱UFJ銀行

<本物件概要>

施設名称	リバーシティ 21 イーストタワーズⅡ (注1)
所在地	東京都中央区佃2丁目50番地4
主要用途	共同住宅
敷地面積/延床面積	6,753.20 m ² /69,024.54 m ² (注2)
環境認証	CASBEE 不動産評価認証 ★★★★★ (評価Sランク) (2023年7月6日認証取得)

(注1) 当投資法人の運用資産はかかる資産を信託財産とする信託の信託受益権の準共有持分(持分割合25%)です。

(注2) 本物件の建物全体の面積を記載しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義(パーパス)と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上